

教育学修プログラム (シラバス)

令和2年度

鳥取大学医学部

教育グランドデザイン

鳥取大学は、基本理念「知と実践の融合」のもと、その時代に必要な現代的教養と人間力を根底におく教育により、地域社会の課題解決や国際社会の理解を志向し、社会の中核となり得る教養豊かな人材の育成に取り組みます。

本学が掲げる「現代的教養」とは以下の通りです。

- (1) 文化、社会、自然に関する幅広い知識 ……………1
- (2) 特定の専門分野に関する理解 ……………2
- (3) 論理的な課題探求と解決力 ……………3
- (4) 創造性に富む思考力 ……………4

本学が掲げる「人間力」とは以下の通りです。

- (5) 自律性にもとづく実行力 ……………5
- (6) 多様な環境下での協働力 ……………6
- (7) 高い倫理観と市民としての社会性 ……………7

学位授与の方針（全学）

鳥取大学は、学生が本学における学修と経験を通じて次の能力を身につけたときに学士の学位を授与します。

- (1) 文化、社会、自然に関する幅広い知識・理解、これを土台とした特定の専門分野に関する深い知識・理解、知識獲得のための方法と技能、そしてこれらを統合した豊かな教養 ……1
- (2) 現実に生起する様々な諸課題を探求し解決していくのに必要な、論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力 ……2
- (3) 地域から国際社会まで、幅広い興味・関心をもち、自律的・主体的・継続的に学び、自らの人生を豊かにする生涯学習力 ……3
- (4) 高い倫理観及び責任感をもち、他者との豊かなコミュニケーションをもとに、協働して実践する力 ……4

それぞれの授業科目が、教育グランドデザインで定める現代的教養と人間力及び学位授与の方針のどの要素と関連しているかについて、本頁の右側の番号をシラバスの下部に記載していますので、参考にしてください。

以下のようにシラバス下部に記載してあります。

シラバス記入例) 教育グランドデザインとの関連 : 1、3、7
学位授与の方針との関連 : 1、2

医学部理念

鳥取大学医学部は、医学科、生命科学科、保健学科がお互いに連携を取りながら、生命の尊厳を重んじるとともに創造性に富む医療人や生命科学者を養成する。

医学部の教育目標

鳥取大学医学部は山陰地方の歴史と伝統ある医学部として、21世紀にふさわしい医学、生命科学、保健学を修得し、これを実践できる人材を育成するための先進的な教育を行う。そして、限りない人間愛を涵養しながら、地域社会の課題を解決し、地域の発展に貢献するとともに、国際的に活躍できる個性輝く創造性豊かな人材の養成を目指す。

医学科では、高い倫理観と豊かな人間性を備え、地域特性に合わせた医療の実践や最先端の医学を創造できる医師を養成する。

生命科学科では、生命倫理を尊重するとともに、基礎医学と最先端の生命科学を修得し、医学とその多様な関連領域の研究者や両者の橋渡し役を担う専門的職業人を養成する。

保健学科では、看護学専攻は看護学の理論と技術を修得し、人間の尊厳を守り、地域特性に合わせた看護を実践できる看護職を、検査技術科学専攻は生命倫理を尊重し、最先端のバイオサイエンスと生体・機能検査の技術をそなえた臨床検査技師を養成する。

医学科

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）

鳥取大学医学部医学科では、その教育目標を踏まえ、学生が医学部医学科の教育課程を修め、所定の単位を修得して卒業要件を満たし、次に掲げる能力や特性を身につけたときに学士（医学）の学位を授与します。

1. 医師に求められる基本的な知識、技能、態度を修得し、それを生涯にわたって維持向上させる姿勢を有している。
2. 豊かな人間性と高い倫理観を備え、社会に対する自身の役割を認識し、患者中心の立場に立った医療を実践する能力を身につけている。
3. 論理的思考力、高度な判断力、コミュニケーション能力を身につけ、他者と協働して医療・研究を行う能力を有している。
4. 常に知的探究心と創造性を持ち、最新の医学的知識を身につけ、国際的な視点で物事を考える能力を有している。
5. 地域や地域で暮らす人を愛する心を持ち、コミュニティと連携して地域医療の向上に貢献する能力を有している。

生命科学科

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）

鳥取大学医学部生命科学科では、その教育目的を踏まえ、学生が本学科の教育課程を修め、所定の単位を修得して卒業要件を満たし、次に掲げる能力や特性を身につけたときに学士（生命科学）の学位を授与します。

1. 自然科学をはじめ一般的な教養に関する幅広い知識と、生命科学および基礎医学に関する深い知識の習得と理解、これら知識の獲得のための方法と技能を身につけている。
2. 生命科学研究の遂行に必要な基本技術とその原理の理解、解決すべき問題を自ら設定できる問題探索力、問題を適切な方法により解決に導く問題解決力を身につけている。
3. 国際的な広い視野を備えた柔軟かつ論理的な思考力、独創的な発想力を有している。
4. 生命科学における真理の探求や新しい技術の開発の重要性に対する深い理解、従来常識や先入観に左右されない態度、他者と共同して研究を進めることができる協調性を有している。
5. 生命科学を学んだものとしての健全な倫理観と責任感を備えている。

看護学専攻

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）

鳥取大学医学部保健学科看護学専攻では、その教育目標を踏まえ、学生が医学部保健学科看護学専攻の教育課程を修め所定の単位を修得して卒業要件を満たし、鳥取大学の学位授与の方針に加え、以下の能力や特性を身につけたときに学士（看護学）の学位を授与します。

1. 看護職者の役割と責務を理解し、豊かなコミュニケーション能力を身につけ、倫理的に行動することができる。
2. 看護の基礎となる人間と健康生活を理解し、人間、健康、環境、看護に関する専門的知識と技術の修得、さらに、あらゆる対象の健康生活のために科学的根拠に基づいて看護を実践する能力を有している。
3. 対象者の利益のために保健・医療・福祉をはじめ種々の関係者と連携・協働し、調整する能力を有している。
4. 看護学の発展のために、看護実践の中から課題を自律的に探求し、論理的・創造的に解決し続ける能力を有している。

検査技術科学専攻

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）

鳥取大学医学部保健学科検査技術科学専攻では、鳥取大学の卒業認定・学位授与の方針に加え、次に掲げるように能力や特性を身につけたときに学士（保健学）の学位を授与します。

1. 幅広い視野から人間を理解し、倫理的に行動する態度と姿勢を有している。
2. 臨床検査学の高い専門的知識と技術を身につけている。
3. 医療人としてのコミュニケーション能力、思考力、判断力、協調性を有している。
4. 地域のみならず国際的な医学・医療の発展に貢献できる科学的探究能力を有している。

医学科

教育課程編成・実施の方針(カリキュラムポリシー)

鳥取大学医学部医学科では、卒業認定・学位授与の方針を実現できるように、体系的な教育課程を編成し、実施します。

(1) 教育課程・教育内容

1. 医学教育モデル・コア・カリキュラムに準拠した教育プログラムを導入し、到達目標を明確にし、卒業時までには医師あるいは研究医になるために必要な知識、技能、態度を身につけられるようなカリキュラムを組むことを基本的な方針としています。
2. 人間力を高めて、幅広い能力を持った職業人を養成するため、教養教育を受講する機会を広く提供し、人間力の構成要素がバランスよく身につくカリキュラムを展開します。
3. 学問に対する興味を深め、学問・研究が社会に貢献している実状を理解させる教育を実践します。
4. 創造力豊かな医療人を育成するためイノベーション教育を実施します。
5. 生命倫理、利益相反、危機管理、環境問題等の社会的に関心の高い学問領域を重視した教育を実施します。
6. 人体および人体標本に対する礼意や倫理に関する教育、守秘義務に関する教育を実施します。
7. 情報社会において安全かつ有効にネットワークを活用できるようにするため情報リテラシー教育を実施します。
8. コミュニケーションの大切さを実感させる教育を実施します。手話をコミュニケーション方法として取り入れるために手話教育に力を入れます。
9. 研究体験、先端医学講義、及び英語論文抄読などにより、リサーチマインドを涵養します。
10. 診療英会話などの実践的英語能力の向上を目指します。海外の学術交流協定校との間で臨床実習体験などの交流を行います。
11. 全人的医療人育成のため、低学年から早期医療体験を通じて、医療従事者としての動機付けを行い、臨床講義終了後に地域医療体験で地域に密着した医療を学ぶとともに地域の保健、福祉、介護の実践と多職種連携の重要性を理解する教育を実施します。
12. グローバルスタンダードを視野に入れた診療参加型臨床実習を実施します。

(2) 教育方法

1. 目標とする学修成果を達成できるように、対話型、参加型教育を展開して能動的な学習を推進します。

(3) 学修成果の評価

1. 目標とする学修成果を達成できるように、知識、技能、態度について、適切な評価方法を用いて厳格に評価するとともに、学生の学修成果達成度を可視化することに努めます。
2. 学修成果をモニターして教育課程の効果と適切性を検証し、教育課程の編成に反映します。

生命科学科

教育課程編成・実施の方針(カリキュラムポリシー)

鳥取大学医学部生命科学科では、卒業認定・学位授与の方針で示す能力や特性を学生が主体的に身につけることができるよう、次に掲げる方針のもとに体系的な教育課程を編成し実施します。

(1) 教育課程・教育内容

1. 生命科学の専門知識とともに幅広い能力を持った職業人を養成するため、教養教育を受講する機会を広く提供し、人間力の構成要素がバランスよく身につくカリキュラムを展開します。
2. 全学共通科目では、自然科学をはじめ一般的な教養を学ぶとともに、医学・生命科学を支える基礎的な知識および技術の習得を図ります。
3. 専門科目では、幅広い医学知識、専門性の高い生命科学知識、生命科学研究に必要な基礎技術の習得および生命倫理の理解を図ります。
4. 論理的思考力、独創的な発想力、的確な表現力およびコミュニケーション能力を育成します。同時に、真理の探求や新しい技術の重要性に対する理解を促します。

(2) 教育方法

目標とする学修成果を達成できるように、1～3年次では、教育課程・教育内容に挙げた内容について、講義および実習を通して学修を推進します。最終年次における「生命科学特別研究」では、所属する研究室においてきめ細やかな指導を行います。これらについて、一対一の対話型および参加型教育を行い能動的な学習を推進し、主体的な問題探索力、問題解決力の育成と修得を図ります。

(3) 学修成果の評価

1. 目標とする学修成果を達成できるように、各年次における試験、レポート、および実習での能動的な探求の姿勢について適切な方法を用いて厳格に評価します。さらに、学修成果の達成度を可視化することに努めます。
2. 最終年次における「生命科学特別研究」は、日常の研究に取り組む姿勢、研究態度、そして卒業論文により、学修成果の到達度を適切に評価します。
3. 学修成果をモニターして教育課程の効果と適切性を検証し、教育課程の編成に反映します。

看護学専攻

教育課程編成・実施の方針(カリキュラムポリシー)

鳥取大学医学部保健学科看護学専攻では、学位授与の方針を実現できるように、次に掲げる方針のもと、体系的な教育課程を編成し、実施します。

(1) 教育課程・教育内容

1. 鳥取大学のグランドデザインの柱である現代的教養と人間力を身につけるために文化・社会・自然に関する幅広い科目を編成します。
2. 全人的医療人の基盤として、こころ・身体・社会の構造と機能について学習し、さらに、看護学の視点から生活者の健康について学習できるカリキュラムを展開します。
3. あらゆる対象の健康生活を科学的根拠に基づき支援するために、看護の対象、看護実践の場、健康にかかわる課題、看護実践の方法について学習を充実します。
4. 看護の本質を追究し続ける姿勢を身につけるために、看護の論理的追究および実践的追究の方法に関する学習を充実します。

(2) 教育方法

1. 自ら学ぶ力を高め、学びを統合するために、対話型・参加型・実践型教育の展開に努めます。
2. 看護の対象となる人々が生活する多様な場において看護実践教育を行います。

(3) 学修成果の評価

1. 目標とする学修成果を達成できるように、知識、技能、態度について試験、レポート等の適切な方法を用いて厳格に評価します。
2. 学修成果の可視化に努め、教育課程を検証します。

検査技術科学専攻

教育課程編成・実施の方針(カリキュラムポリシー)

鳥取大学医学部保健学科検査技術科学専攻では、卒業認定・学位授与の方針を実現できるように、次に掲げる方針のもと、体系的な教育課程を編成し、実施します。

(1) 教育課程・教育内容

1. 幅広い知識と確かな実践力をもった人材を育成するために、バランスのとれた教養教育と専門教育を行います。また、自律的な生涯学習力を養成します。
2. 臨床検査技師に必要な科目を中心にして、専門科目を体系的に学べるよう教育課程を編成します。臨床検査技術の習得につながる実習科目を充実します。
3. 医療人として必要な医学の専門科目に加え、コミュニケーション能力を育成する科目を設置し、他者との違いを理解し、他者を思いやる心と倫理観を涵養します。
4. 大学附属病院を含む地域の医療施設で実習を行い、臨床現場での体験学習を充実させます。
5. 最先端のバイオサイエンスや医学・医療の実際を学べる教育課程を編成します。また、課題研究など国際的に通用する問題解決能力・創造的表現力を育成する科目を設置します。

(2) 教育方法

目標とする学修成果を達成できるように、対話型、参加型教育を展開して能動的な学習を推進します。

(3) 学修成果の評価

1. 試験、レポート等の適切な方法を用いて厳格に評価します。
2. 学修成果の可視化に努め、適切性を検証し、教育課程の編成に反映します。

鳥取大学医学部医学科【コンピテンズ・コンピテンシー】

コンピテンズ(能力と技能)		コンピテンシー(「コンピテンシー(能力)」とは、単なる知識や技能だけではなく、技能や態度を含む様々な心理的・社会的なリソースを活用して、特定の文脈の中で複雑な要求(課題)に対応することができる力。)
I 倫理・プロフェッショナルイズム	<ul style="list-style-type: none"> 責任ある医療を実践するための倫理観を持ち、それに基づいて行動できる。 患者の利益を重視する患者中心の医療を習得し、実践できる。 生涯にわたり自己研鑽して高い医療水準と誠実さを持ち続けるために、内発的動機による自己学習能力を持ち、応用できる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 医の倫理および生命倫理を理解して、適切に行動または判断できる。 2 利益相反等、研究倫理に関わる問題を理解して、適切に行動または判断できる。 3 患者や家族のプライバシーに配慮し、守秘義務を厳守することができる。 4 患者中心の医療について理解し、実践できる。 5 内発的動機の重要性を理解して自己学習し、医療の知識、技能、態度を維持向上することができる。 6 社会的に求められる医師像について討論し、目指す医師像を明確にすることができる。 7 社会的使命を果たすため、信頼できる行動をとることができる。 8 患者や家族にはさまざまな価値観があることを認識し、受け入れることができる。 9 同僚や後輩との間で、診療に関する知識や技能を教えあって共有できる。 10 様々なキャリアの医師と交流して、主体的に自らのキャリアについて考えることができる。
II コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 思いやりの心や共感的理解力といったヒューマンコミュニケーション能力を実践的に習得して、医療現場等で応用できる。 障害者とコミュニケーションしたり、地域フィールドの中でコミュニケーションしたりする能力を実践的に習得して、医療現場等で応用できる。 情報社会を理解して、安全かつ有効に情報ネットワークを活用できる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 患者や患者家族とコミュニケーションを通じて、良好な関係を築くことができる。 2 医療チームのメンバーとコミュニケーションを通じて、連携を図ることができる。 3 聴覚障害者などの障害者と手話等でコミュニケーションをとって、円滑な診療をサポートすることができる。 4 地域フィールドの中で、地域住民、行政関係者、医療関係者らとコミュニケーションをとり、社会性を身につけ良好な関係を築くことができる。 5 安全かつ有効に情報ネットワークを活用してコミュニケーションを取ったり、情報を収集したりできる。
III チーム医療	<ul style="list-style-type: none"> 他の医療従事者の役割を理解し、連携してチーム医療を行う能力とともに、医師としてリーダーシップを発揮してチームビルディングする能力を習得する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 医療チームの中で役割を持ち、適切に相談・報告・連絡を行うことができる。 2 他の医療専門職を目指す学生と交流し、それぞれに異なる価値観があることを認識し、受け入れることができる。 3 他の医療専門職との連携を実践できる。
IV 医学の知識	<ul style="list-style-type: none"> 最新の基礎科学、基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を習得して、応用できる。 医療安全の基礎を学び、予防と対策を講じることができる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 物理学・化学・生物学の知識を人体の構造や機能の理解に応用できる。 2 人体の正常構造と機能や生命現象に関する知識を習得して、病態の理解に応用できる。 3 人体に関する正常および病態の知識を診断・治療に応用できる。 4 診療に関わる基本的知識と技能を習得して、臨床実習に実践・応用できる。 5 ガイドラインや論文の情報を活用して、科学的根拠に基づく医療(EBM)を実践できる。 6 疫学、予防、保健、福祉、医療経済といった医療の社会性に関する知識を習得して、地域で応用できる。 7 医療安全の知識を習得して、患者や医療従事者に起こる医療上の事故及び医療関連感染症を防ぐことができる。
V 診療の実践	<ul style="list-style-type: none"> 診療に必要な症候・病態について理解するとともに、基本的な診療知識と診療技能を用いて医療面接および身体診察を行い、得られた情報をもとに臨床診断を行い、治療計画を立案することができる。 総合的診療および全人的医療の能力を習得し、実践できる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 早期から医療従事者としてのモチベーションを高めて実践的に示すことができる。 2 適切な医療面接で患者の病歴を正しく聴取して整理できる。 3 身体診察を適切に行って全身状態や身体各部の所見をとり、病状を判断できる。 4 病歴や身体診察の結果から必要な検査を選択し、検査結果を解釈できる。 5 病歴、診察所見、検査結果等の情報を整理して臨床推論を行い、疾患を診断することができる。 6 適切な治療計画を立案することができる。 7 診療録や医療文書を適切に作成できる。 8 病状説明や患者教育に参加できる。 9 カンファレンスなどで臨床実習の成果を発表、討議できる。
VI 知的探究と創造性	<ul style="list-style-type: none"> 常に知的探究心を持ち、基礎と臨床の連携で涵養されるリサーチマインドを身につけるとともに、実践的に医学研究に応用できる。 イノベーションの重要性を理解して、実践できる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 医学・科学研究の成果が社会に貢献している実情を知り、重要性を理解できる。 2 医学的・科学的に意義のある研究課題を見出し、研究に取り組むことができる。 3 データを解析し、論理的に発表・討論してプレゼンテーションできる。 4 臨床的に意義のある研究課題を見出し、トランスレーショナルリサーチの可能性について探索できる。 5 創造性豊かな医療人となる基礎を身につけて、診療や医学研究に応用できる。 6 医療における発明の重要性を理解して、イノベーションを実践できる。
VII 国際性	<ul style="list-style-type: none"> グローバル化に対応できる語学能力と国際感覚を身につけて、応用できる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 英語を母国語とする人と対話ができる。 2 国際的な視点で医学研究の情報を収集し、議論して発信できる。 3 診療英会話を習得して、実践できる。 4 国際交流に関心を持ち、多様な異文化を理解できる。
VIII 地域医療	<ul style="list-style-type: none"> 地域社会を大切に思い、地域における医療のニーズを認識したうえで、地域医療に貢献できる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域住民の健康状態には、家族、地域社会、文化などの社会環境が関与していることを理解できる。 2 地域医療に必要なプライマリケアの考え方や技能を習得し、基礎的事項を実践できる。 3 地域や地域で暮らす人を尊重し、コミュニティと連携して地域医療の向上に貢献できる。

講義・実習室等施設略図

シラバス講義室記載名と建物名、階及び講義室等名

【講義室スケジュール掲載】

111	： 講義実習棟1階111講義室	ATU	： アレスコ棟2階チュートリアル室各番号
112	： 講義実習棟1階112講義室	ETU-	： 総合教育棟2～4階チュートリアル室各番号
121	： 講義実習棟2階121講義室	解剖	： 総合教育棟1階解剖実習室
122	： 講義実習棟2階122講義室	機能系	： 総合教育棟2階機能系実習室
131	： 講義実習棟3階131講義室	感染生化	： 総合教育棟3階感染症・生化学実習室
211	： アレスコ棟1階211講義室	組織系	： 総合教育棟4階組織系実習室
221	： アレスコ棟2階221講義室	S1	： アレスコ棟5階スキルラボ1
231	： アレスコ棟3階231講義室	S2	： アレスコ棟5階スキルラボ2
261	： アレスコ棟6階261講義室	S3	： アレスコ棟5階スキルラボ3
262	： アレスコ棟6階262講義室	S4	： アレスコ棟6階スキルラボ4
322	： 総合教育棟2階322講義室	S5	： アレスコ棟6階スキルラボ5
323	： 総合教育棟2階323講義室		
421	： 臨床講義棟2階421講義室		
431	： 臨床講義棟3階431講義室		
511	： 生命科学科棟1階511講義室		

※ 上記は学務課で予約できます。実習室は担当教室に事前確認ください。

※ 総合教育棟チュートリアル室番号は階と番号をハイフンでつないであります。

※ その他に講義実習棟、アレスコ棟及び生命科学科棟に各実習室があります。

※ 講義日程、場所を変更したい場合は下記のURLから学生・講義室スケジュールを確認できます

<https://www.med.tottori-u.ac.jp/current/3423/19197.html>

(アクセス) 鳥取大学医学部ホームページ→「学部生の方へ」→

→授業・履修欄の「学生・講義室スケジュール」

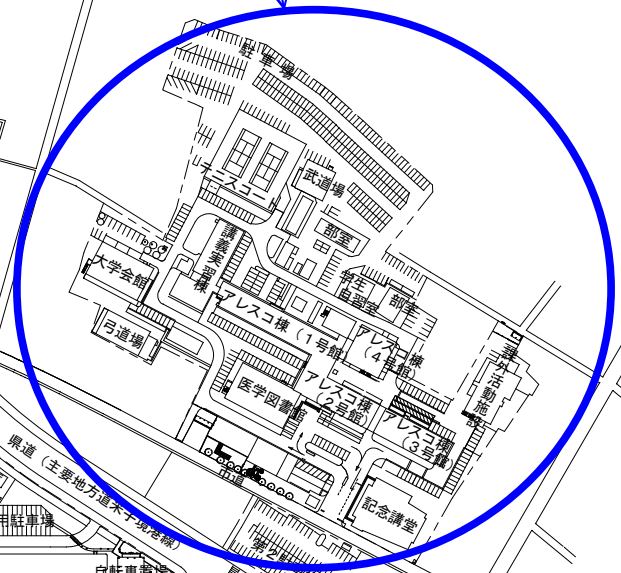
【その他の講義・実習室等】

C演習室	： 総合教育棟4階コンピュータ演習室	(管理: 総合メディア基盤センター-米子サブセンター)
SC	： 第二中央診療棟4階シミュレーションセンター	(管理: シミュレーションセンター)
記念講堂	： 記念講堂	(管理: 総務課(学生の場合は学生係に問合せ))
総研セミ	： 総合研究棟セミナー各番号	(管理: 医学科事務室)

鳥取大学（米子北団地）構内
別図 1



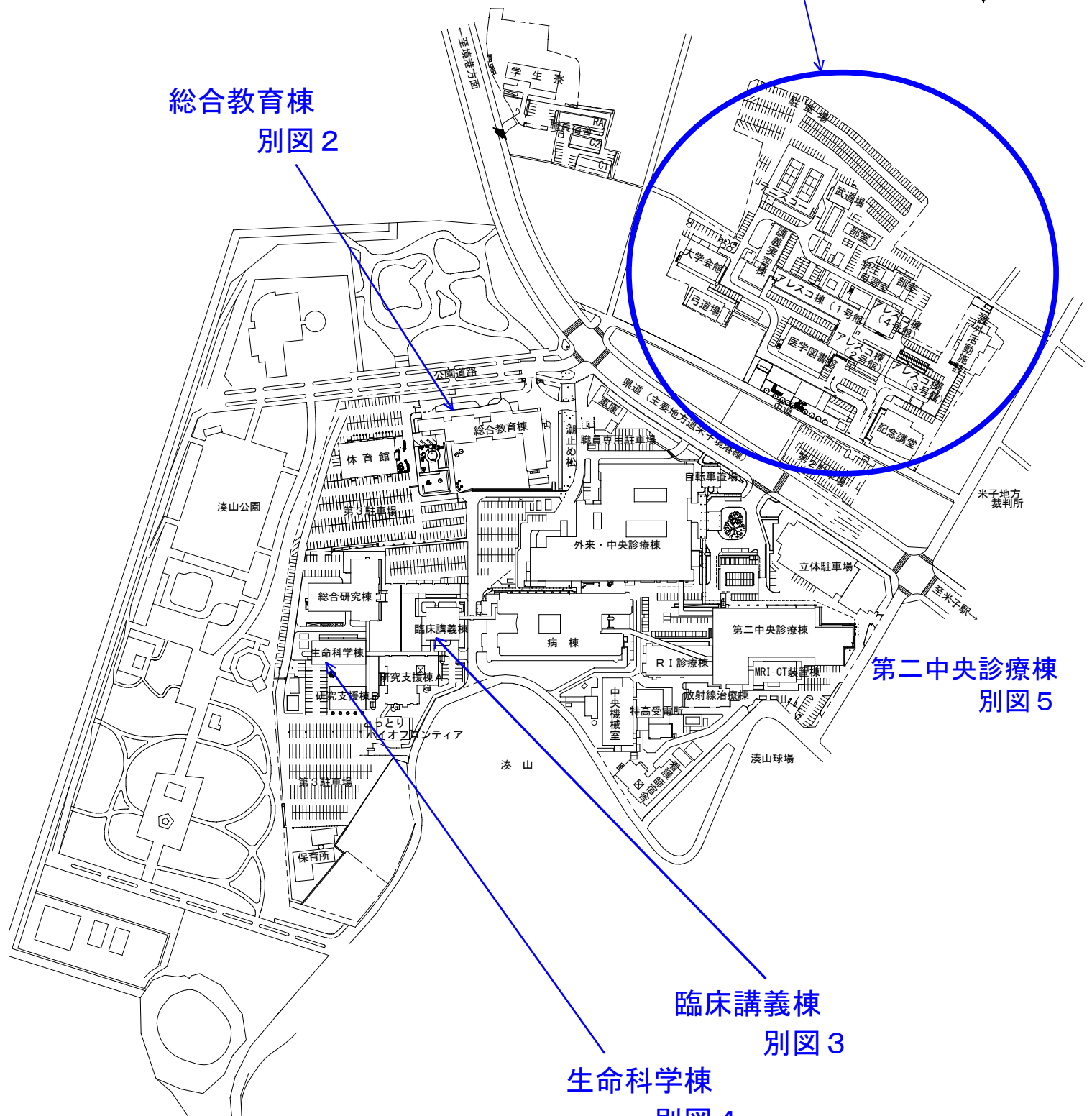
総合教育棟
別図 2



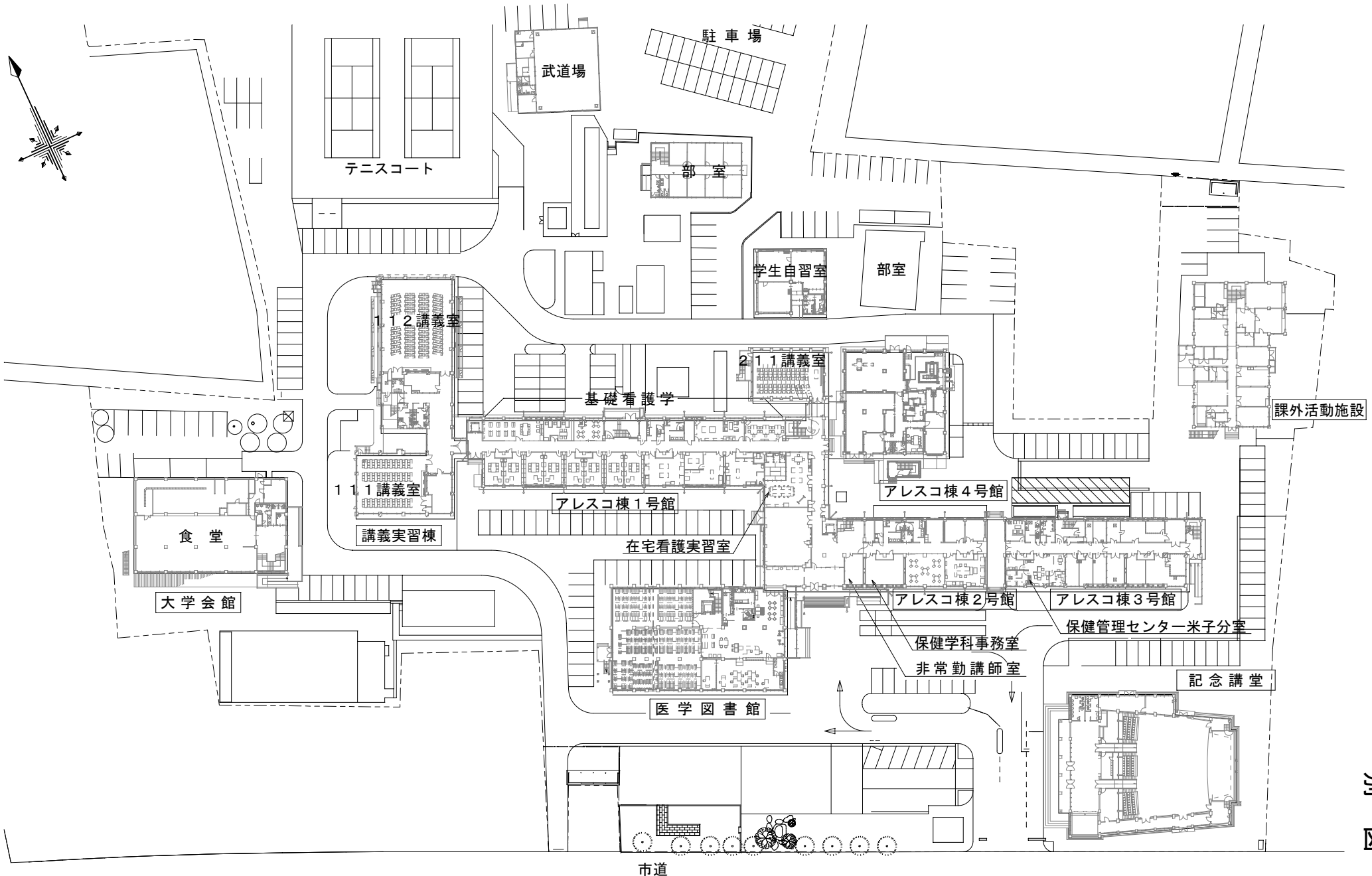
第二中央診療棟
別図 5

臨床講義棟
別図 3

生命科学棟
別図 4

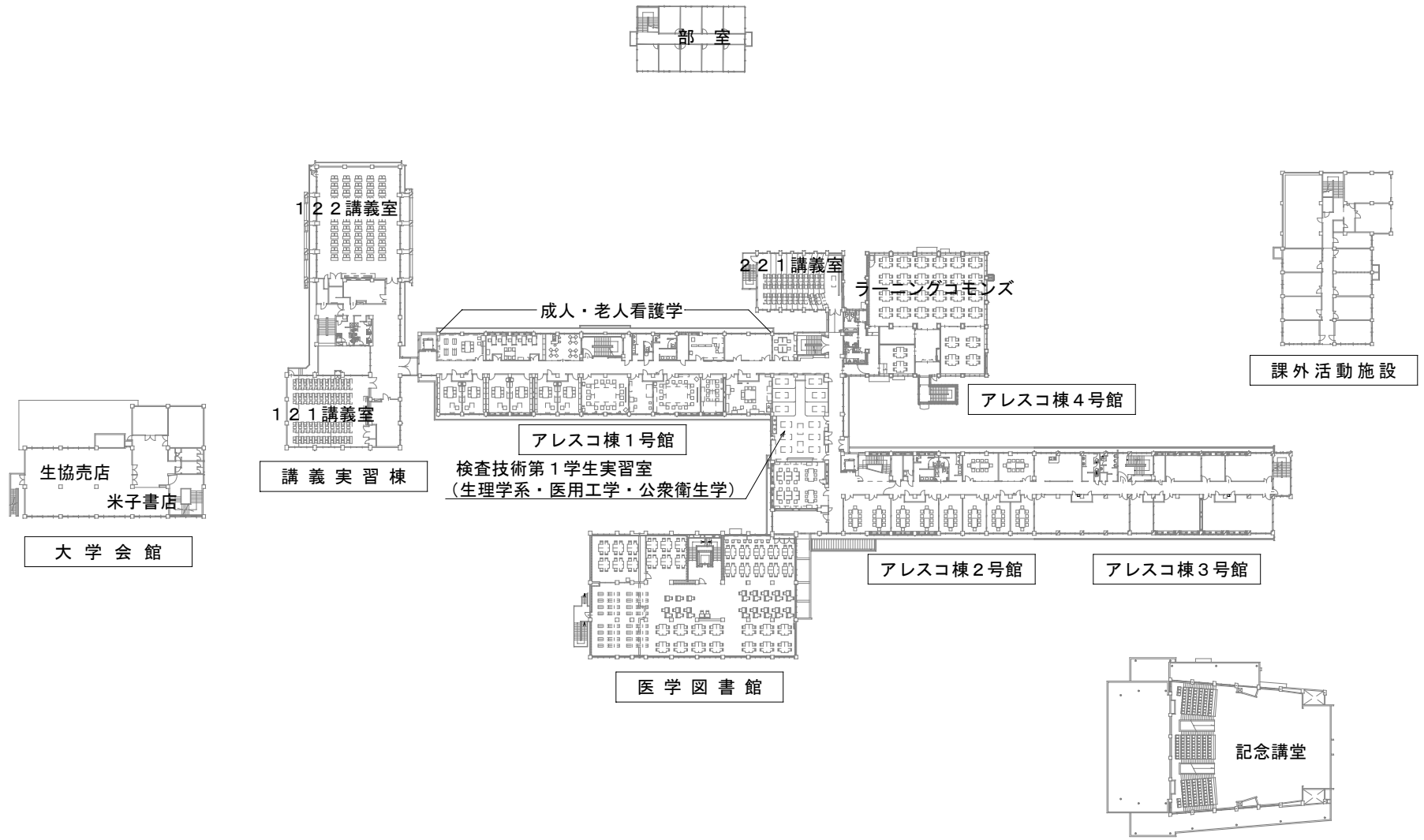


鳥取大学（米子団地構内）配置図 S=1:4000



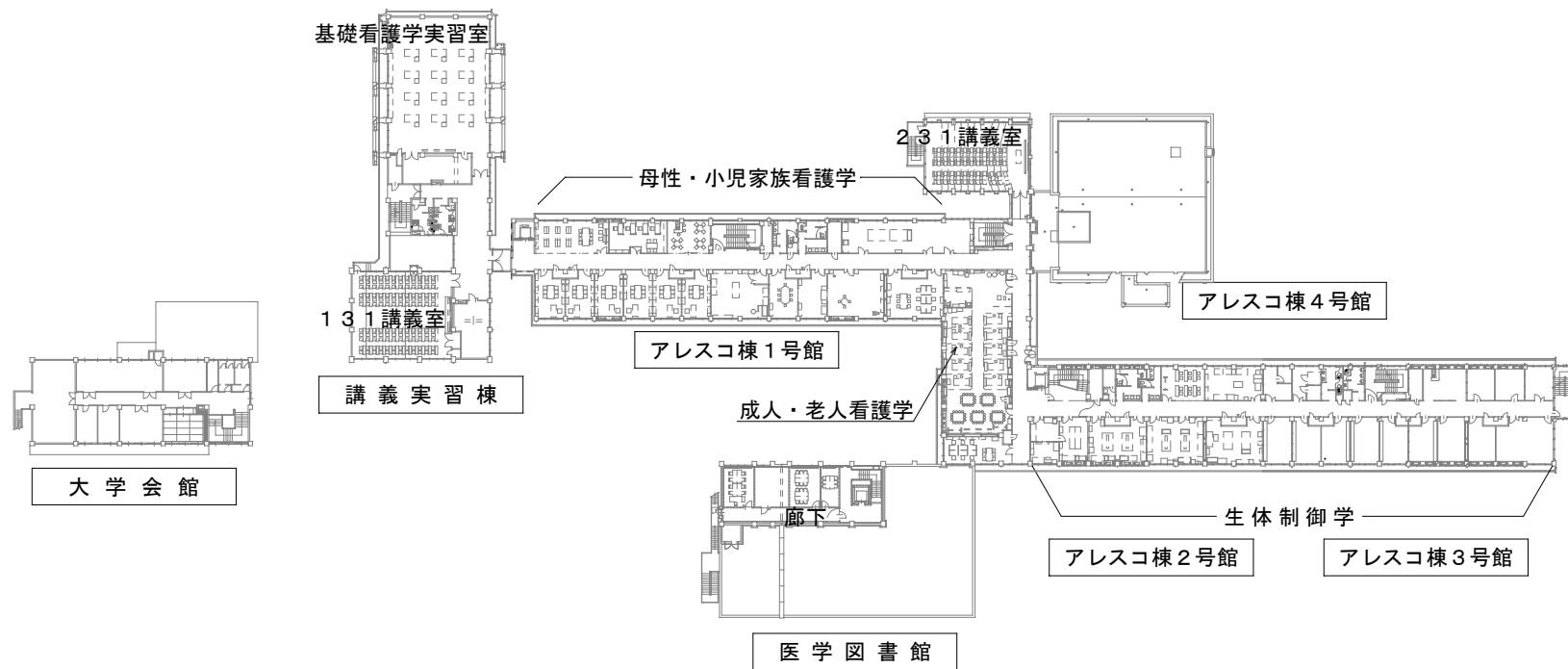
鳥取大学（米子北団地構内）配置図 S=1:1500

(1階)



鳥取大学（米子北団地構内）配置図 S=1:1500

(2階)

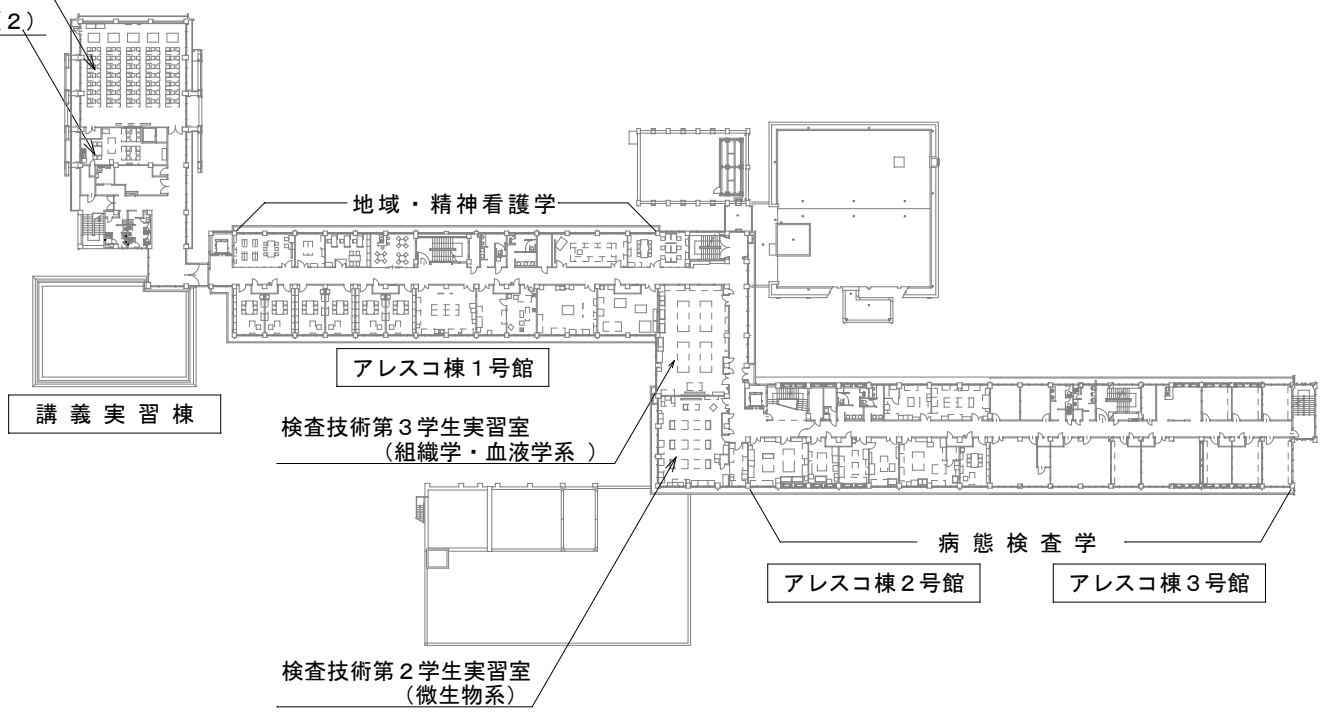


鳥取大学（米子北団地構内）配置図 S=1:1500

（3階）

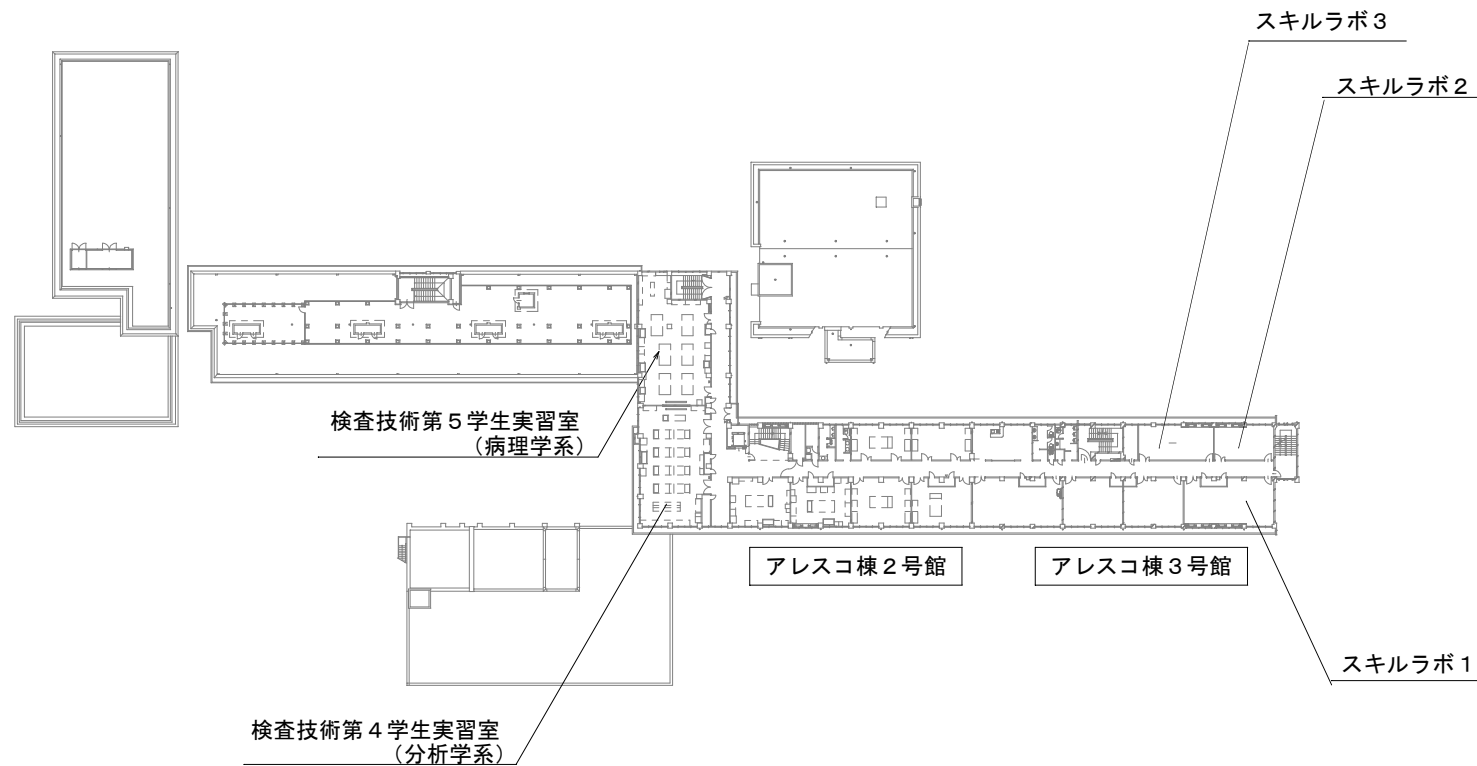
地域・精神看護学実習室 (1)

地域・精神看護学実習室 (2)

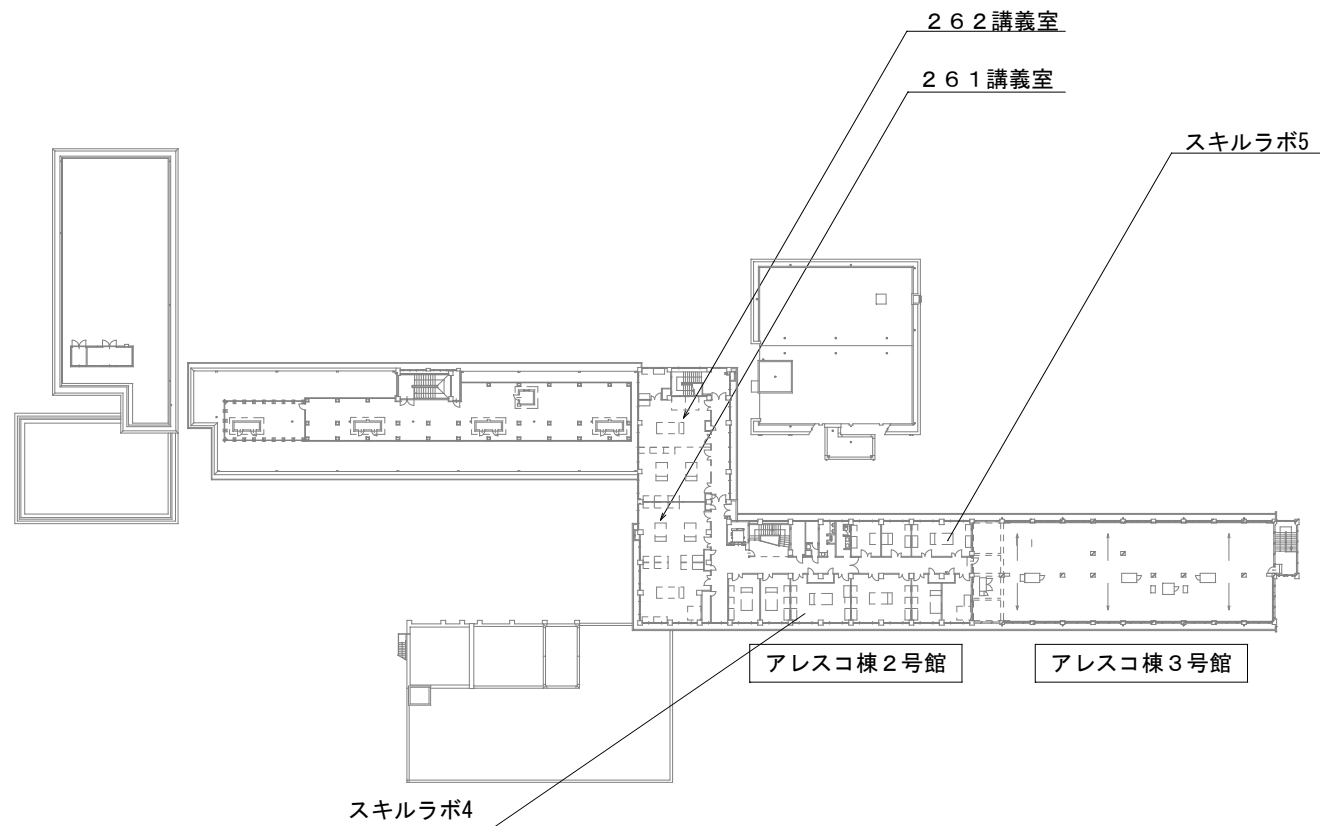


鳥取大学 (米子北団地構内) 配置図 S=1:1500

(4階)



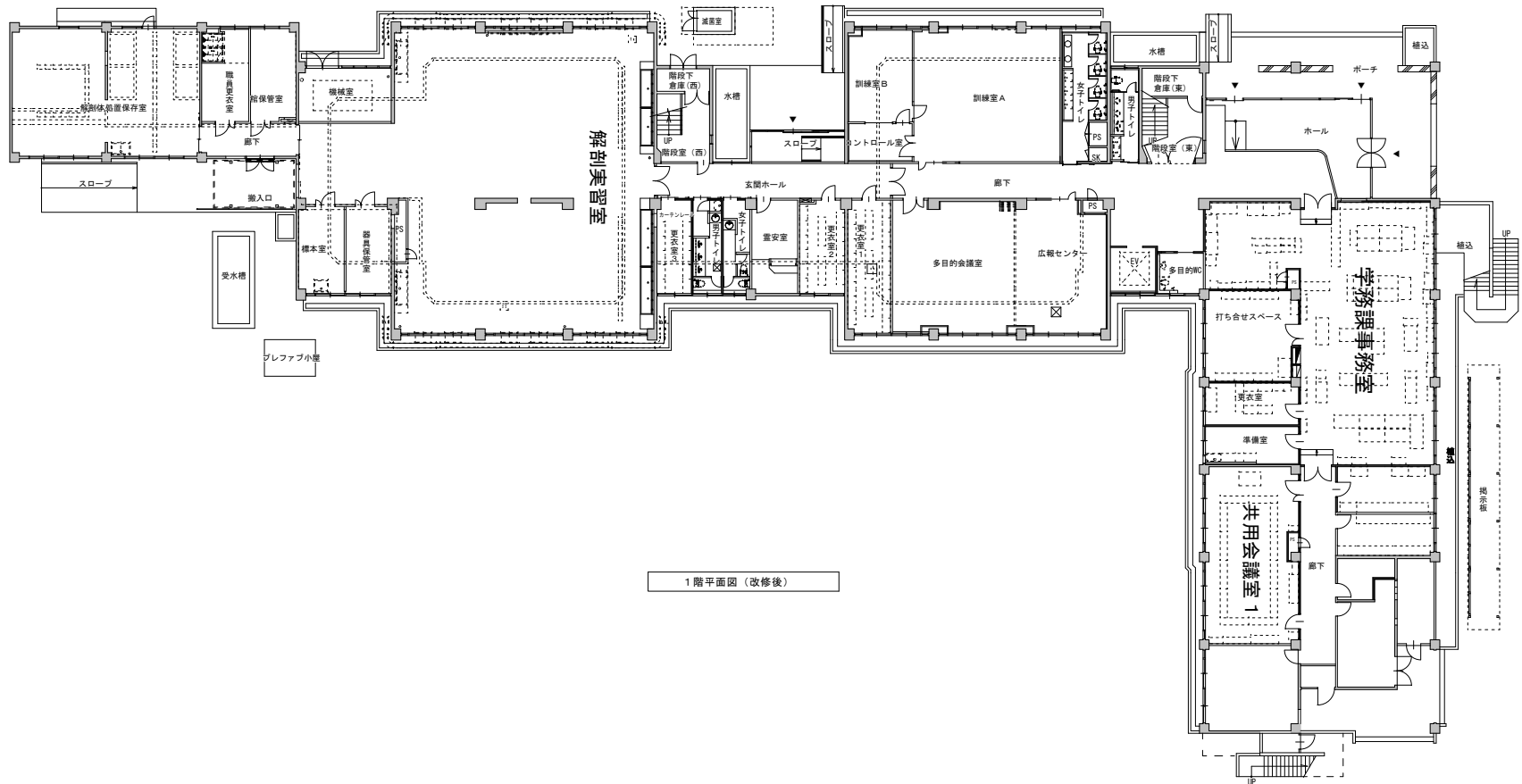
鳥取大学（米子北団地構内）配置図 S=1:1500 (5階)



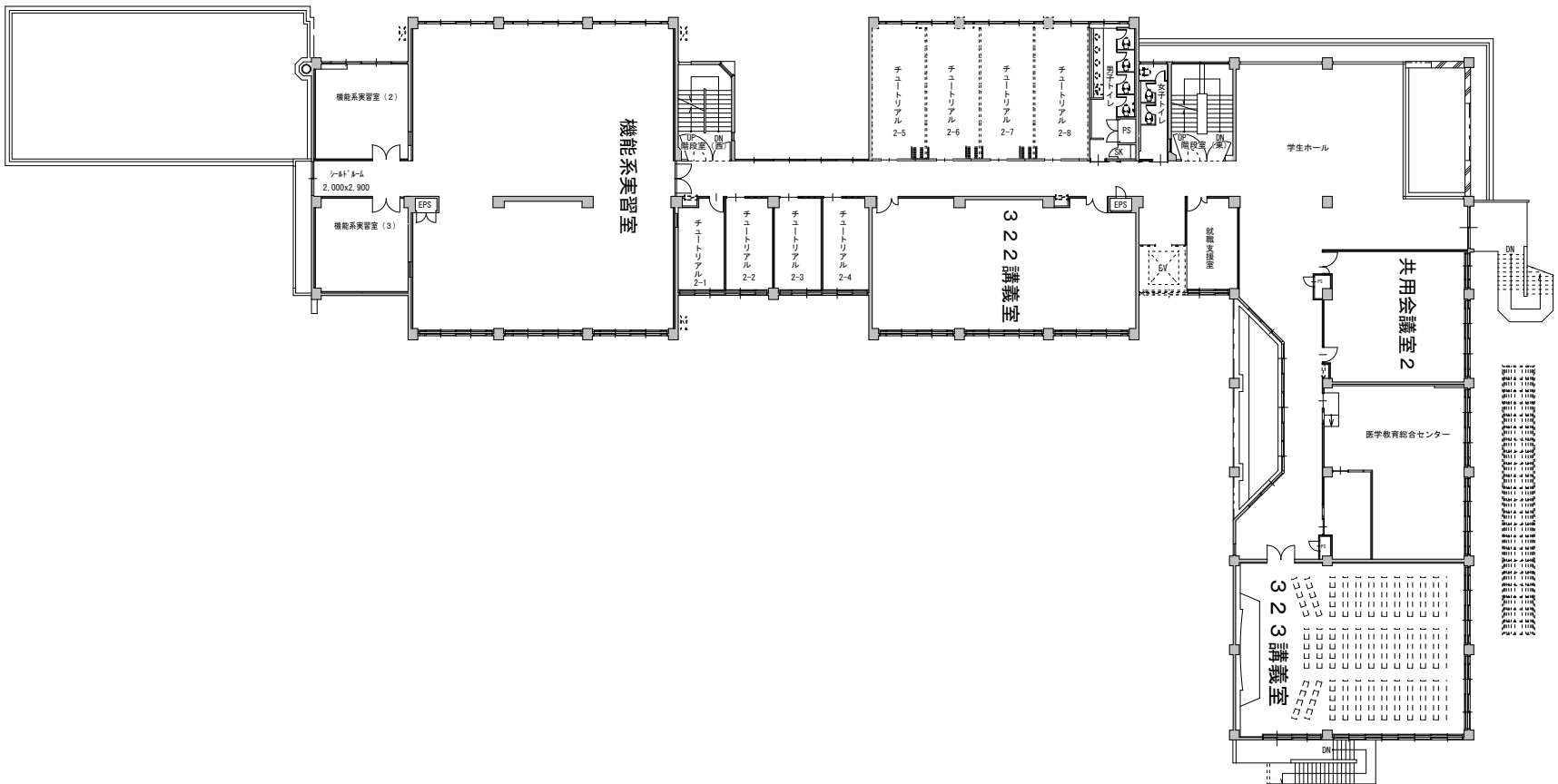
鳥取大学（米子北団地構内）配置図

S=1:1500

（6階）



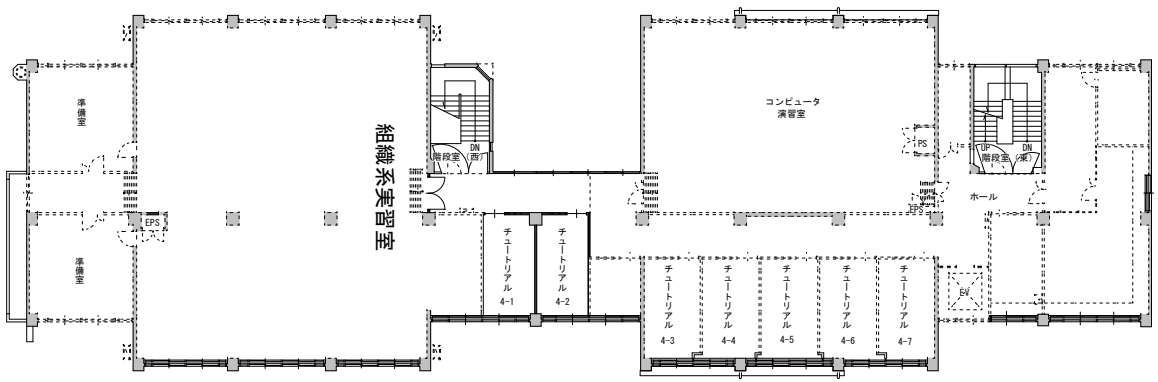
1階平面図（改修後）



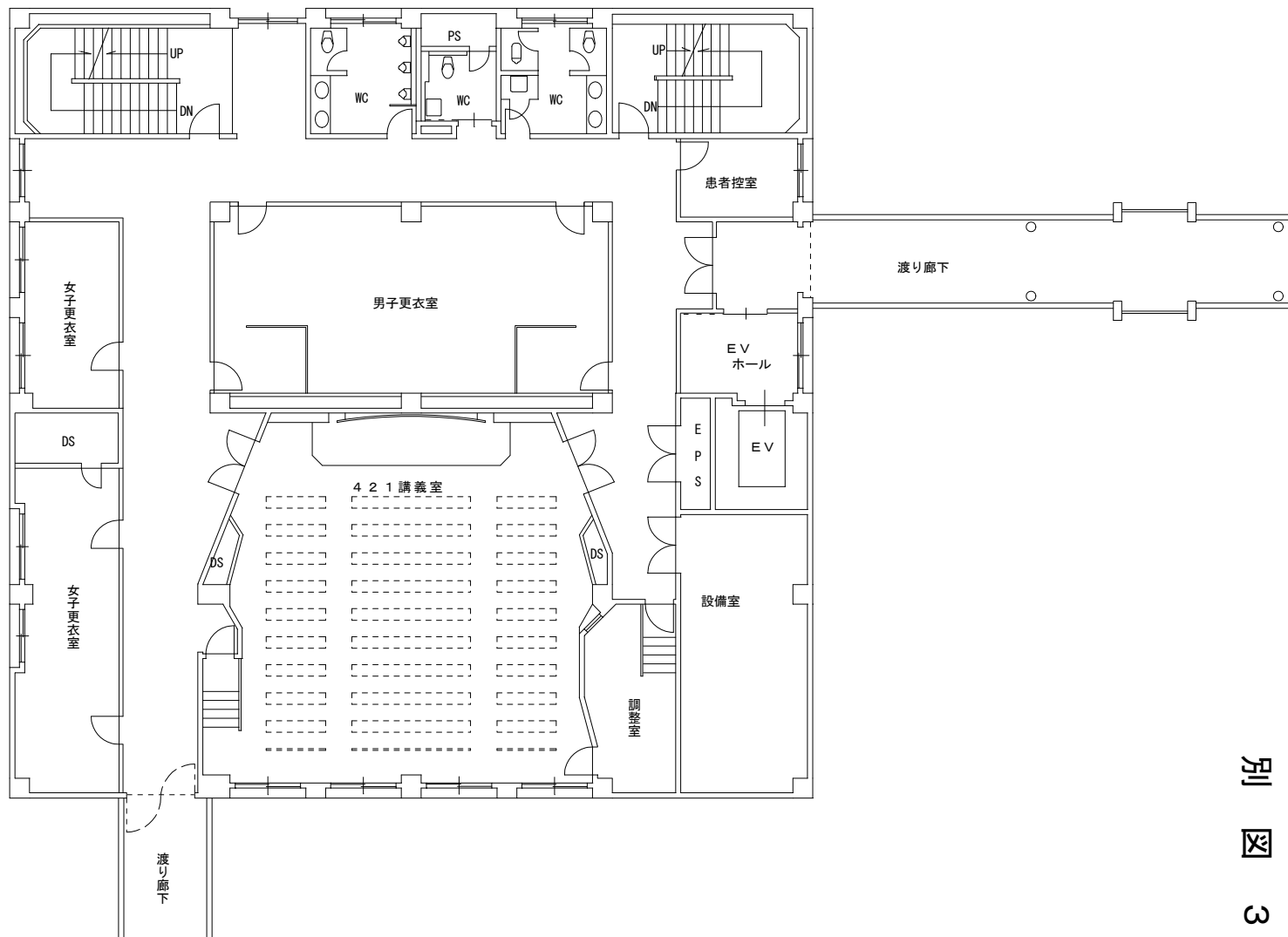
2階平面図 (改修後)



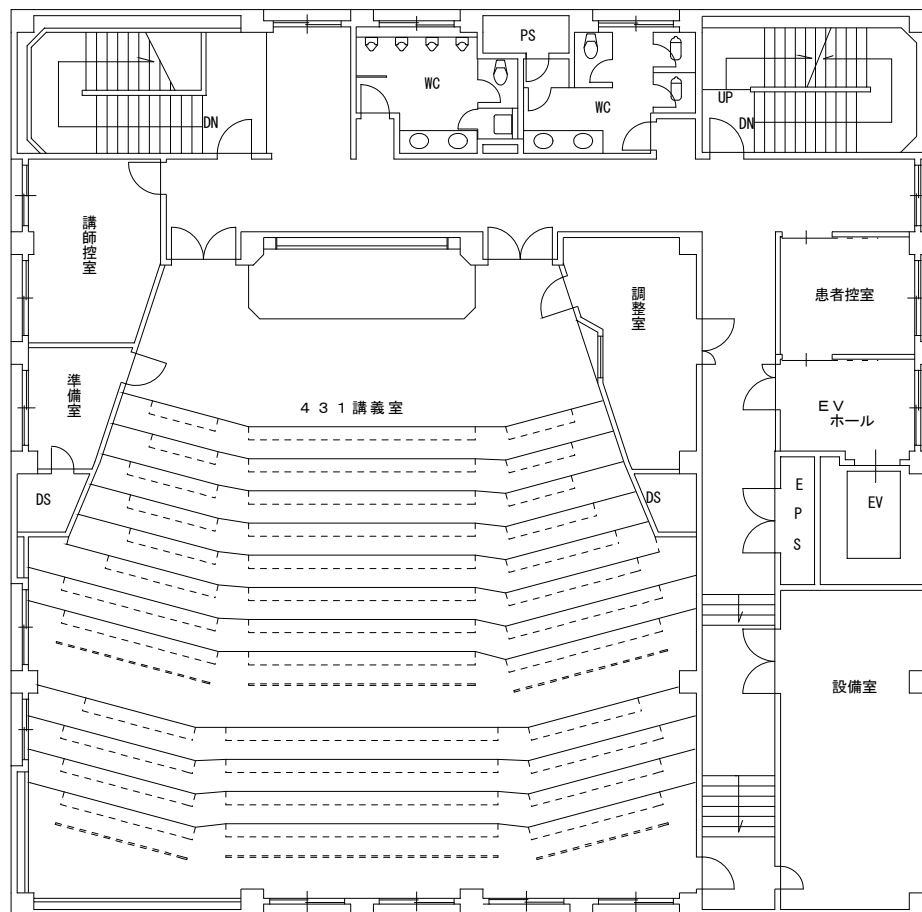
3階平面図 (改修後)



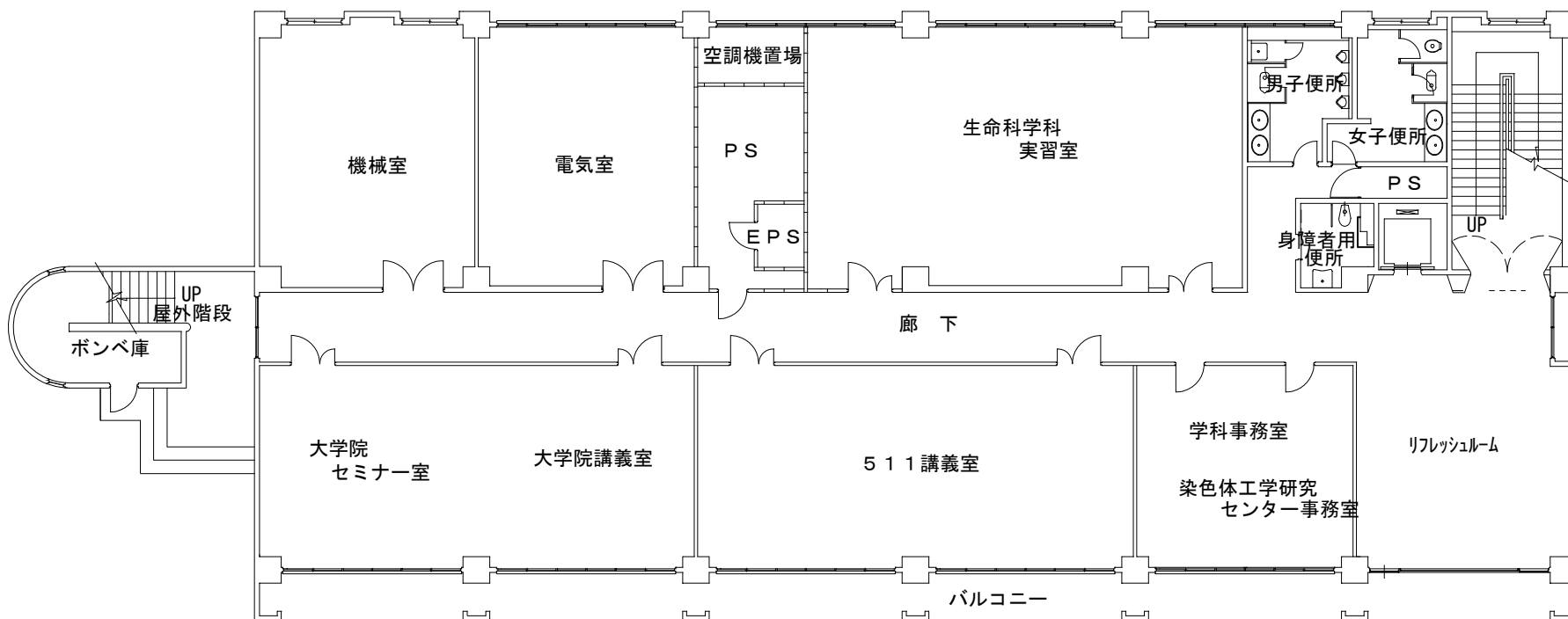
4階平面図(改修後)



臨床講義棟 2階平面図 S=1:200



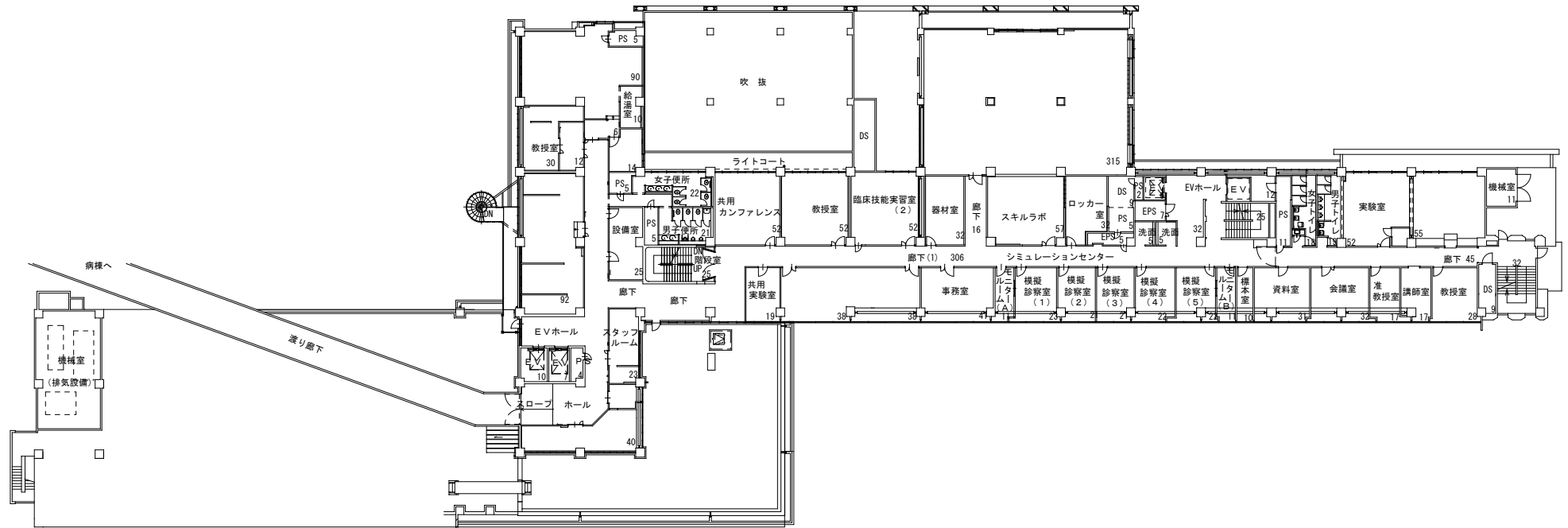
臨床講義棟3階平面図 S=1:200



生命科学科棟 1階平面図 S=1:200



シミュレーションセンター



第二中央診療棟 4階平面図 S=1:600

教育学修プログラム(シラバス) 令和2年度 鳥取大学医学部

発行年月 2020年3月

編集・発行所 鳥取大学医学部医学教育総合センター
医学教育支援部 学部教育支援室
〒683-8503 鳥取県米子市西町86番地
Tel 0859-38-6438
Fax 0859-38-6458
